

# DECISION

Protest

Request No.: 08

Heard Jointly With Number(s): 09, 11

Event: PERSSON 470 class Japan Championships 2023 Race Number: 9  
Hearing Schedule: 2023-09-09

## PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 08: 470 - ゴールド - JPN 22 - Bow# 1 - 友里恵 関

470 - ゴールド - JPN 8 - Bow# 2 - 奎樹 岡田

Request No.: 11: 470 - Gold - Jpn8 - 岡田 奎樹

470 - 2 - JPN 22 - Bow# 1 - 磯崎 哲也 関 友里恵

Request No.: 09: 470 - GOLD - JPN 22 - Bow# 1 - 磯崎 哲也 関 友里恵

## VALIDITY

**Objection to Jury:** No

**Within Time Limit:** Within Time Limit

**Incident Identified:** Yes

**Proper Hail:** Protest hailed

**Red Flag Displayed:** Not required

**Decision:** Request Valid

## PROCEDURAL MATTERS

Case9,11を同一タイミングのケースとして、同時に審問を実施する。

JPN22の代表者として関が出席した。

JPN8の代表者として岡田が出席した。

JPN22とJPN8は証拠として、ビデオを提出した。

## FACTS FOUND

- ゴールドフリート 第9レースのスタート時の風速・波高は10knot・2mだった。
- スタート信号の20秒前、風上艇JPN8と風下艇JPN22はスターボードタックでクロスホールドの角度で微速で前進していた。  
この時、両艇の間隔は2艇幅で、JPN8が半艇身先行してオーバーラップしていた。
- スタート信号の10秒前にJPN8がクロスホールドの角度で帆走を開始した。(位置1)
- JPN22がクロスホールドから15°ラフィングし、JPN22のクルーは膝を曲げた状態で、トラップーズに出た。  
この時、トラップーズのアジャスターの長さはトラップーズリングがデッキにつく長さだった。(位置2)
- JPN22のラフィングと同時にJPN8は風位までラフィングした。(位置2)
- JPN22はポートヘタックを変更し、JPN8の後方を通過してそのままコースの帆走を続けた。(位置3)
- JPN8はスターボードタックのクロスホールまでベアアウェイをし、コースの帆走を続けた。(位置3)
- 両艇に接触は無かった。
- いずれの艇もペナルティーの履行をせずに、コースの帆走を続けた。
- いずれの艇にも、傷害は無かった。



image.png 272 KB

**Diagram:** Protest Committee diagram attached

#### CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

**Rules:**

同一タックでオーバーラップしていた、風上艇JPN8は風下艇JPN22をRRS11に従って避けていた。  
航路権艇であるJPN22はコースを変更するとき、RRS16.1に従いJPN8に対して避けているためのルームを与えていた。  
両艇に規則違反は無かった。

#### DECISION

抗議を却下する。

**Date & Time:** 2023-09-09 17:55 JST

#### PROTEST COMMITTEE

**Committee Type** Protest Committee

**Chaired By:** Shinichiro Okazaki (JPN)

**Committee Members:** Kai Masuda (JPN), Masayoshi Mizoguchi (JPN)